



第43号昭和37年12月1日発行（毎月1回1日発行）

おもな記事	1
工業高校設置の意義	1
農協合併を促進	1
町の歩み	2
農作業	3
農業構造改善事業	4
保健だより・スポーツ	5
産業文化祭のレポート	6・7
学校欄	8
福祉・年金	9
人権の尊重	10
暴風波だより	11
商工会欄・郵便局だより・文芸	12

工業高等学校設置の意義

県教育長 佐藤睦治

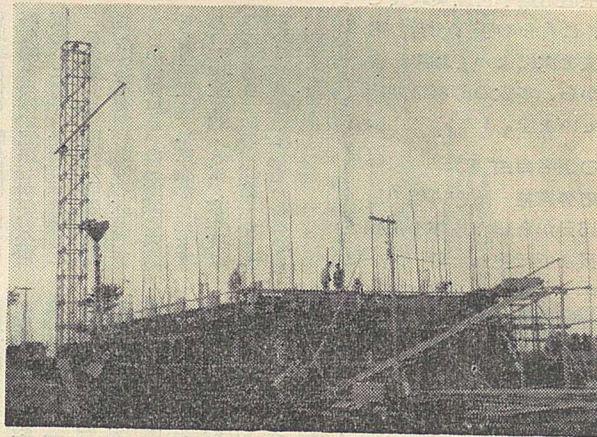
最近における科学技術の画期的な進歩に伴ない、近代産業の躍進はまことに目ざましいものがあり産業教育の充実と刷新が強く要請されている現状であります

本県においては、国の長期経済計画に対応して今後県勢の飛躍的な伸展、県民所得の向上を期する総合振興計画に即応して、産業教育の推進を図ってまいりました。なかでも、高校生徒急増対策とあいまって、工業教育の大巾な整備充実を実施しておりますが、その一環として、県東地域の御地に県立工業高校の設置が決定されたことは、まことに同慶のいたりでございます。すなわち、今後の開発に期待されている、広大な土地と霞ヶ浦の水資源を持つ鹿行地帯に唯一の工業教育機関として誕生することは、地域産業の振興開発、地域社会の教育の普及ならびに生活改善に寄与するとこそ、まことに大きなものが約束されたものといえましょう。

玉造の地に、鉄筋コンクリートの威風堂々たる高層建築で、最新式な機械、電気機器等で整備された校舎が建設される日も間もないことです。

今後この学校がかりつばな教育の殿堂として成長するには、地域の方々の一途な教育への志と、愛情、協力がまたなければならないと強く信じているものであります。

終りにのぞみ、工業高校の誘致に寄せられた地域の方々のご努力に敬意を表するとともに、今後とも教育振興のため、なお一層のご協力を懇願いたします。



工業高校の工事進む

~~~~~

県立玉造工業高等学校の建築工事は、十月五日着手しましたが、その後順調に進んでいます。現在、本館（三階建）の一階部分の柱と壁、二階床の鉄筋を組立て、コンクリートの流しこみ作業中です。機械科実験室は、基礎が終り、柱を建てています。

武蔵野の一角に白亜の偉容がお目見えするのも間もないことでしょう。

## 農協合併を促進

### 農業の近代化と発展のために

さきに農業基本法が制定され、農業を近代化するための施策がとられており、その一環として、各地に農協合併、一町村1農協の実現を見ております。

町でも、基本法にもとづいて、農業生産をふやし、生活を向上させるための農業構造改善事業々地域として指定を受け、計画をすすめて行くことになりました。

この時にあたり、町では、管内5農協協同組合を合併し、その運営を強くすることが必要であるとの考えから、合併促進への基本的な話し合いを進めてまいりました。

もとより、農協合併は、組合員みなさんの意志により、決定されるものであります。そのために十一月中

旬から、各部落の座談会を開き、趣旨の説明にあたっているわけです。みなさんのご協力によって一日も早く、この合併を実現し、全部の農家がこの農協を通して農業の近代化、収入がふえて発展できるよう、りっぱな農協をつくりあげたいものです。このしごとを進めるために、玉造地区農協協同組合合併促進協議会が結成され、調査研究、方針の決定、啓蒙宣伝等を行っています。

機構は、次のとおりです。

（構成委員20名）

会長（町長）坂本常蔵

副会長（農業委員長）笹目義男

監事（町議会議員）竿台光雄

（手賀農協組合長）出沼恒松

（立花一農協参事）坂本 薫

委員（町議会）小野口清

（農業委員会）桶川義雄、笹目正義、中野勇

（農協）玉川 金塚安定

玉造 芳野寅一 現原 八木

豊 立花一 島田関之助

（学識経験者）栗原志良

芹沢外記 田中西松

|      |             |             |
|------|-------------|-------------|
| 町政日誌 | 1日          | 部落長会議       |
|      | 2日          | 農協合併促進協議会   |
|      | 7日          | 青年学級        |
|      | 10~12日      | 産業文化祭       |
|      | 15日         | 合同ひととき（各地区） |
| 11月  | 20日         | 農業委員会郡協議会   |
|      | 21日         | 青年学級        |
|      | 24日         | 農業委員会農政部会   |
|      | 27日         | 農村主婦研修会     |
|      | 28日         | 青年学級        |
| 29日  | 農政活動本部常任委員会 |             |
|      | 農業委員会総会     |             |
| 30日  | 選挙管理委員会     |             |



【西浦地区の防除作業】

農作物の地上部の被害は、肉眼で見ることができるところから、これらの防除は従来からよく行なわれてきました。しかし、地中の被害になるとその生息を肉眼で認識できない関係から、研究も防除も長い間おぼろげにされてきました。ところが近年になって畑作生産の低下原因が、土壌線虫や土壌病害にあることが明らかになってきたので、農林省では、国の施策として土壌線虫重点防除地を各地に設定して、一般防除の推進をはかっています。

土壌線虫は体長が〇・五〜二・〇ミリメートルで、その体のなかに各種の器官をもっており、根などに寄生して口針で養分を吸ったり毒液を体外に出したりします。人体や家畜に害をする寄生性の線虫や、土壌中の細菌や真菌の被害を受ける植物の根に寄生する寄生性の線虫などがあります。

## 『土壌線虫』の防除

### 畑作の敵

二葉期以降の管理  
たねをまいたあとに除草剤を使ったところでは、中耕などして土を動かしてはなりません。除草剤を使わなかったところでは、雑草が一せいに芽を出しはじめるころ使ってもよく草が大きくなったときは、いったん草を抜き、CATを使います。また、そのころ麦ふみをはじめる時期です。ちかごろは省耕栽培で、かなりいろいろな作業がはな

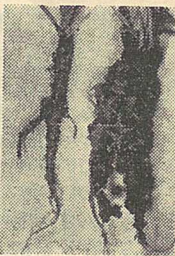
### 麦

## 十二月の農作業

かてきたが、麦ふみだけはしたものです。まして、冬条播植まきにおいては特に必要です。麦ふみは、本葉三枚ぐらいからはじめます。

そさい  
農作業のくきりをつける月である年の暮正月用と秋野菜の収穫でいそがしいときです。年内だけでなく時期をみはらかって収穫、出荷するものもあるが、収穫後畑があらいたる早

線虫の被害を受けたニンジン  
は、畑面積の六割程度が被害を受けています。これまで作物の原因不明の病気や、微量要素欠乏症などと取り扱われたものの中にも、土壌線虫の被害が主要な原因になっているのわかりました。このように、土壌線虫の被害は量的にも多くなる、質的にいろいろ被害の事実がわかるに従って、前述のように、その対策の重要性が認識されたわけです。今後は、畑作物の収量が知らず知らずの間に減退したと気付いたときは、土壌線虫の被害の



ためではないか位の関心が必要であると忘れられます。線虫の防除法としては、いろいろありますが、最も手取り早くて効果的な方法は、殺虫剤による土壌燻蒸です。農林省でも、指定地の土壌燻蒸に要する薬剤および土壌消毒機の購入に対して助成金を交付しているわけです。

町では、浜、緑ヶ丘、中山、新西、西蓮寺の各地区合計十ヘクタールを指定して防除を実施しました。これによって二〇〜五〇％の増収が期待され、十アール当たり三千四百四十四度の必要経費は浮いてくるわけです。他地区の皆さんも土壌線虫の防除により、畑作および果樹栽培において、生産の強化と、経営の安定に役立たせることを期待いたします。

(農業改良普及所)

## ※あぜ道をゆく※

ニツボン放送(1310KC) 毎朝6時から

|                     |      |                   |
|---------------------|------|-------------------|
| ◆12月◆               | 25日  | これから考えられる経営の型     |
| 10日 反当170キロの桑園作り    | 26日  | ことし人気のあつた果菜の品種    |
| 11日 簿記と税金           | 27日  | 村づくりに精を出す生改ク      |
| 12日 おれたちのやったちかまき栽培  | 28日  | ラブことしの農業五大ニュース    |
| 13日 水田裏作ジャガイモ作り     | 30日  | お金は楽しく使うもの        |
| 14日 米一点ばりの農業経営      | 31日  |                   |
| 15日 どんぶりかんじょうから家計簿  |      |                   |
| 16日 1日8千円の酪農経営      | ◆1月◆ |                   |
| 17日 借金しても経営拡大か      | 1日   | 10年後の農業技術はどこまで進むか |
| 18日 信頼される親の条件       | 2日   | 経済の展望とことしの農業      |
| 19日 ライスセクンダー        | 3日   | うさぎのはなし           |
| 20日 10アール70万円のシシトウガ | 4日   | 簿記はわが家のバロメータ      |
| 21日 矯正改善を現地にみる      | 5日   | 青年のちかまきのこつ        |
| 22日 ダンボール包装のいろいろ    | 6日   |                   |
| 23日 一人250頭の豚飼いはこれ   | 7日   |                   |
| 24日                 | 8日   |                   |

の保持、土壌消毒などをやり、冬のあいたの仕事をし、果菜予定畑の深耕を行ないます。また、深耕畑では、二〇〜五〇％多く使います。

畜産  
ことしの寒さは九年来といわれます。牛や豚のエサは暖かくして与えましょう。

畜舎の防寒も完全に行なうて、乾いたワラを十分に入れ、とくにすき間風がはいらないよう注意します。しかし、しめきつてばかりいてはかえって害になるので、換気と採光にも注意することです。

## 町のあゆみ

町長 坂本 常 藏

昭和三十七年を送るにあたり、日頃考えていることを述べ、年内の出来事などについて報告申し上げます。

ご承知のとおり、現在の農村は食事情の変化、国際貿易の自由化、就業構造の変化等の影響を受け、他産業との所得格差が年々大きくなり、いわゆる「曲り角」に來たとされています。

事実、わが町においても、大部分が農家であり、みなさん方としても同様な感じを持たれると思います。いづれにしても、農村は今、大きな歴史的転換期にありこの曲り角を、より良く曲らねばならないと存じます。

この事は、町政にも大きな影響を及ぼしており、この事実をしっかりと把握しない限りその熱行はできず、将来の飛躍は望めないという状態です。

### 新有権者の感想 文を募集します

昭和38年1月15日に成入式を迎える方は公民として新たに選挙権をもつことになります。

玉造町選挙管理委員会では、これらの新有権者の感想文を次によって募集しますから、多数の応募を期待しています。

○題名自由  
○応募資格 昭和17年1月16日から昭和18年1月15日までに生れた者

○字 数 4千字以内(400字詰原稿用紙10枚以内)

○内 容  
①新有権者としての感想を折り込んだもの  
②現行の選挙制度について  
③現在の政治等についての感想

④その他上記に準ずる感想文

○しめきり 昭和37年12月末日

○提出先 玉造町役場内選挙管理委員会宛

○入選発表 昭和38年1月15日(成入式当日)なお入選作品は「広報たまっくろ」に掲載します。

○賞 入選作品には記念品を贈ります。

○その他 応募原稿は一切返しません。応募作品には、題名、氏名、住所、生年月日を忘れずに記入のこと。

もとより、町行政は、予算によって執行されており、歳入は、歳入がなくてはならないと論議をまいたいところでもあります。

歳入においては、現実的な財源は、町税であり、国からの交付税であります。幸い、わが町は、みなさんの絶大な協力により、年々、税率が伸び、昨年度は、99%の好成績をあげ、連続3年、金看板をいただくの栄に輝きました。この機会に、改めて町民のみなさんにお礼を申し上げる次第です。しかしながら、自己財源の大部分である町税は、予算面から見ると、昨年度は32・8%、本年度は28%であり、他の財源に依存する度合いが大きくなっているという状態です。

土木方面に目を転じてみますと、年々交通量の増大に伴ない、道路の整備は急務といわれていますが、町では、大型トラック2台、小型トラック2台、ベルトコンベヤーの整備のため、玉川、浜に揚水機場の設置、谷島、加茂地区等の暗渠排水の完備等の助成をしてまいりました。

更に、農業の基本である土地基盤の整備のため、玉川、浜に揚水機場の設置、谷島、加茂地区等の暗渠排水の完備等の助成をしてまいりました。

衛生関係では、予防対策において、保健所管内最上位にあり、今後は、環境衛生等の根本問題である水道、じんあい焼却場及び尿処理場設置の問題に真剣に取り組むべき時です。

消防関係においては、連続4年の県、国の表彰に輝き、消防団の優秀性を示しております。更に、団とともに、貯水設備の整備等に努力する必要があります。

国民健康保険は、開始以来四年目を迎え、非常に親しまれ、その税率は97・1%で、鹿行三郡で第一位という協力をお願いいたします。

小・中学校については、施設内容の充実をはかってまいりました。施設としては、小学校は郡内第一位、中学校は北浦村に次いで第二位という程度にまでこぎつけました。更に充実をはかるためには、中学校の統合問題解決が第一と考えます。これは、本年当初、町民みなさんのご承知のとおり経過しております。

本年度、幸い県立工業高等学校の設置を見、来年四月には開校、百六十名の生徒が入学できることになりましたが、今後の町発展、百年の大計として有意義であると思ひます。

以上、日頃の考えと、年内の主な経過を列記してまいりました。これは、真年であり、勇往邁進の年であったのですが、幸い財政的に、36年度決算において八百六十九万の黒字を見、対外的には高が誘致され、対内的には、税関係は極めて多くの表彰をいただいたのであります。これひいては、町民みなさんの協力、職員一同の精励のたまものとお礼を申し上げるとともに、農村は曲り角とは申せ、一丸となった町ぐるみの努力により、将来大きく飛躍し得る基盤は出来つつあることを確信して今後における絶大なご協力をお願い申し上げます。

向寒の折、十分健康に留意され、平穏な年を送られ、多幸なる新春をお迎えくださるよう、お祈りして筆をおきます。

このことは、農村地域町村の共通の悩みであり農村振興策を第一に取らねばならぬゆえです。町は、昭和三十六年度に、農業構造改善事業地域の指定を受け、本年度を準備期間とし、三十八年度は実施にいられたことになっており、現在産業課を中心として連日部会協議会を催している次第です。これと並行して、町では独自の計画のもとに、「村づくり会」をつくり、種母豚の導入、ふ卵場の設置、集乳所の設置等を各関係機関と相談つづけて助成し、また、そま、果樹については、原料トマトの契約栽培、石垣イチゴ栽培、梨園造成等、農業生産の成長部門を助長してまいりました。

コンクリートミキサー各一台を持つて、人員も確保、その整備を強化しております。県道では、本年度、八木崎、加茂河地区の改修、駅道・玉川地区の舗装等約三千方の工事を実施中であり、更に玉造横町の簡易舗装も十二月中には着工の予定になっております。三年後には、玉造、藤井間の舗装が完成する見込みになっております。

国民年金は、保険料の納付率、十月末で99・4%の好成績をあげています。

おります。しかし、年々受診率が上昇し、加えて昨年七月の点数制の引き上げ、同年十二月の医療費値上げにより増税のやむなきにいたり、迷惑をかけていますが、本年度からは、加入世帯主7割給付が確保され、漸次、改善されてきております。ただ、わが町は重症患者が隣接町村に比し少ないといわれていることは、幸いと存じます。

終りに教育関係について述べます。

本年度、幸い県立工業高等学校の設置を見、来年四月には開校、百六十名の生徒が入学できることになりましたが、今後の町発展、百年の大計として有意義であると思ひます。

以上、日頃の考えと、年内の主な経過を列記してまいりました。これは、真年であり、勇往邁進の年であったのですが、幸い財政的に、36年度決算において八百六十九万の黒字を見、対外的には高が誘致され、対内的には、税関係は極めて多くの表彰をいただいたのであります。これひいては、町民みなさんの協力、職員一同の精励のたまものとお礼を申し上げるとともに、農村は曲り角とは申せ、一丸となった町ぐるみの努力により、将来大きく飛躍し得る基盤は出来つつあることを確信して今後における絶大なご協力をお願い申し上げます。

向寒の折、十分健康に留意され、平穏な年を送られ、多幸なる新春をお迎えくださるよう、お祈りして筆をおきます。







# お互いに人権を 尊重しましょう

きたる12月10日は、世界各國において世界人権宣言の記念日とされています。わが国においても例年12月4日から10日までを「人権週間」として人権尊重の考え方を広めております。

人権の尊重は、今日の人間生活にとって欠くことのできない基本條件であり、思想、階級、性別等の相違をこえた全人類の願いであることの認識をさらに深め、お互いに自分、他人の人権を尊重しあう民主的な社会風行を確立するよう努力しましょう。

わが国の憲法でも、基本的人権が、侵すことのできない永久の権利として保障されており、このような基本的人権は、人類の多年にわたる自由を求める努力の成果として現在各國の憲法においてもそれぞれ保障されるにいたりました。世界人権宣言は、さらに推進して人権を國際的に保障しようとするものです。

しかし、わが国の現状は、まだ世界人権宣言の理想とするところからほど遠いように思われます。とくに最近の傾向として、人命の輕視、悪質な暴力の横行、法秩序を無視した集団暴力等、人権を根底から破壊するような風潮がきわめて多くなってきました。このような状態のもとに「人権週間」を



人権擁護委員に  
関七郎平さん

去る、十月一日つげをもって法務大臣から委嘱、発令されました。関さんは、明治二十七年、玉造、下宿生まれ、大正十年茨城県巡査をふり出しに警察官を歩まれ、昭和二十六年下宿警察署次長、昭和二十八年警視庁に退官、現在、内宿力ラメの地に住んでおられます。

## 歳末をむかえて 町ぐるみの防犯を

一年の決算期を迎える歳末は、人心のせわしさが加わるせいか、犯罪が多くなり、各種の事故が多くなります。

一、盗まれるすきを、なくしましょう。

二、暴力は、みんなをなくしましょう。

三、盗まれるすきを、なくしましょう。

四、暴力は、みんなをなくしましょう。

五、盗まれるすきを、なくしましょう。

## 冬休みの子どもに 家庭の指導を

12月25日から冬休みになります。冬休みは、短い期間ですが、年末、年始の特別な時期を含めているので、子どもに対する家庭の適切な指導がたいせつです。

一、忙がしのために、いろいろなしがちですが、そのままだと子どもに当らないように。

二、子どもにも、その能力にふさわしい仕事を与え、忙がしい家事を分担させ、勤めく喜び、自信を持たせて、協力の態度を養うようにさせましょう。

三、はたに流れる正月の生活を避けるように努めます。また、外出先、帰宅の予定時間をしっかりと守らせましょう。

四、食はずきならぬよう注意します。

五、交通安全に注意をはらい、道路上での遊びなどに十分気を付けましょう。

## 12月のこよみ

4日 10日 人権週間  
4.5.7.10.11日 農村主婦研修会  
5日 青年学級  
8日 行方郡教育振興大会  
12日 21日 農業経営者研修  
20日 選挙管理委員会  
22日 冬全  
下旬 町議会  
15日 年賀郵便特別取扱い開始  
28日 御用納め  
御用納め  
年末たすけあい運動  
歳末の犯罪防止、火災防止  
冬山への警告

## 裏筑波だより

### 坂本 三郎 兵衛

玉造町から筑波山を望むと、その裏側にあるのが真壁町です。

筑波の北に足尾、加波山と阿武隈山脈が連なっていますが、筑波にかくれてあまり知られておりません。毎日、筑波山を眺めながら六か月をすごし、ようやくこの地方の風物にも馴れてきましたので私の探りました名所旧蹟を報告いたします。

#### 筑波山

海拔八七六メートルは、山として高い方ではありませんが、関東平野に孤立する男体女体の雄姿は関東の名山といふにふさわしいものです。筑波山は、三億年の歴史をもっている(富士山は三万五千年)といわれています。東、南山麓の周辺には、貝塚があり、むかし、太平洋がこの近くまで来ていたことを物語っております。

筑波町と真壁町でその境界を争っています。筑波の裏山は真壁町になっており、登山道がほぼ完成しています。

#### 築王院

筑波山の西側にそびえる導師高原(通称「大石横み」)山頂は海拔七二一メートルの中腹にあり、椎尾薬師とも呼ばれています。

桓武天皇の勅願により、最仙上人の建立したもので、瑠璃光如来

## 祖先の地と交流

### 富山縣と手賀新田

十一月十七日の屋敷が、富山縣城端(じょうはな)町の図書館長鳥越昌先生が来訪され、玉造町、新田に部長野原小市郎と



つ、この稿を開きさせていただきます。

筆者略歴  
大正五年 玉造横濱資で出生  
昭和七年 玉造小学校卒業  
昭和十七年 茨城県警視  
現住所 真壁郡真壁町大字飯塚三二三番地



たまたま、昭和三十一年四月にを生してから百五十周年の記念行事が行なわれ、このことがいばらき新聞に載って、深いつながりがわかりました。新聞のとり持つ縁といたところ。昭和三十三年十一月から、今日来訪された鳥越先生との交流がはじまり、色々と連絡をされたわけ。当日は、下車後、すぐ役場を訪ね、町長を交えて青年研修所の和

